

コード	301030113
記入日	H23.6.9

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	釜崎 儀弘

# 事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	保健衛生普及費
----------	---------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 ー 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	8
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	2
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010301	事務事業名称	国民健康保険特別会計事業費	細目コード	553
関連計画		法令・条例規則等	国民健康保険法		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	23,210人 (H22.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・平成22年10月24日「新上五島町健康まつり」及び「歯サビイフェスタ」を同時開催し、健康に関する講演を実施し、又、健康チェック・健康相談を行い、生活習慣改善のための普及を図った。	*****	*****	*****	開催回数1回+開催予定回数1回	*****
		①	開催回数	1回	100%	
		(達成率分析)	予定通り開催した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・生活習慣病棟の予防・改善を町全体で取り組むことによって「自分の健康は自分でつくる」という自覚と意識を高め、町民全てが健康で明るい生活を築くための一助とし、よって将来の医療費の抑制に繋げていくことを目的の実施。	*****	*****	*****	参加人数180人+参加計画人数300人	*****
		①	参加人数	180人	60%	
		(達成率分析)	マンネリ化の兆候が見えるため、来年度以降対策を考えなければならない。			
		②				
		(達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	5	5	4	1	1					
	②										
成果指標	① 人	1,363	1,243	1,063	300	180					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	45,772	45,615	38,744	7,028	6,871					
直接事業費 A	千円	33,872	33,715	28,944	4,928	4,771					
人件費 B	千円	11,900	11,900	9,800	2,100	2,100					
内訳	従事職員数	人	1.7	1.7	1.4	0.3	0.3				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	45,772	45,615	38,744	7,028	6,871					

**評価**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	医療費の抑制、節約のためには必要である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	社会生活環境の変化によって、生活習慣病予防の観点から益々重要になっている。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	本来の対象者は、国保被保険者であるが、将来国保被保険者となるため、全住民を対象としても問題なく適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	事業の実施場所については、検討すべきところであるが、継続することで成果をあげられる。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	住民への健康増進対策及び実施時期等を十分に検討し、保健衛生事業を実施することで可能となる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	将来の医療費の抑制について、啓蒙する場がなくなる。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業はない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	毎年見直しを行っているため、これ以上の削減は難しい。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限の人員で実施しているため、削減できない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	受益者負担はない。

**改善**

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ見直す必要はない。
		有効性	住民の健康増進に貢献しており、有効である。
		効率性	既存の保険事業との連携を考える必要がある。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	参加人数が計画人数の60%となっており、健康まつりの中身の再検討を要する。また、各種イベントや事業展開による普及活動により、町民の健康志向を高め、生活習慣病予防・改善、住民の建造増進を図ること。
		効率性	関連する保健事業との連携により、経費の削減を図ること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。